

教訓を力に！津市の雨水対策

～進む安心、確かな効果～

下水道工務課 ☎239-1033 FAX239-1037 河川排水推進室 ☎229-3207 FAX229-3345



POINT

シールドマシンとは？

シールドマシンは、モグラのように地中を掘り進む巨大な機械です。先端の刃で土を削りながら、同時にトンネルの内壁を組み立て、安全に雨水管を作ります。

津工業高校2・3年生が半田川第二雨水幹線築造工事現場を見学(シールドマシン前で撮影)

近年、全国的に予測不能な豪雨や大型台風が増加し、津市でも道路冠水などの浸水被害が発生しています。特に低地や河川周辺では、短時間の降雨でも影響が出やすく、早急な対策が求められています。

市では平成30年度に「津市雨水管理総合計画」を策定し、浸水リスクが高い15の区域を重点対策地区に選定。その上で、雨水幹線、雨水ポンプ場の整備などの浸水対策に取り組んでいます。例えば、藤方第二排水区では直径3.4m、延長約1.5kmの大規模な雨水管を、半田川田排水区でも直径2.2m、延長約2kmの雨水管の整備が進行中で、完成すれば周辺の浸水リスクが大きく低減されます。また、一志地域では国・県と連携し、事業費17億円で新たな雨水ポンプ場の建設を予定しています。その他の地区でも、地形や流域特性に合わせたポンプ場、雨水幹線、調整池等の整備を進めています。

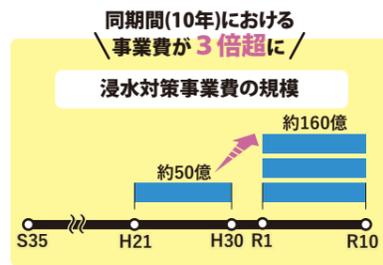
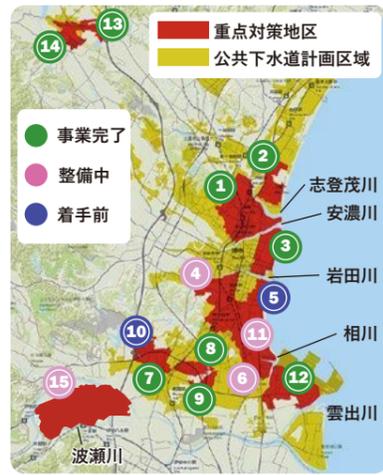
こうした事業には多額の事業費が必要となります。藤方第二、半田川田、波瀬川第六・第七排水区は、国の大規模雨水施設整備事業に採択されたことにより、個別補助制度を活用し、事業を計画的に推進しています。

これからも、安定した財源を確保しつつ計画的な整備を継続し、浸水リスクの抑制と被害軽減に向けて対策を講じていきます。

雨水管理総合計画(R1~10)事業スケジュール

重点対策地区名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
①上浜	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
②栗真町屋	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
③橋内東部第二	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
④半田川田	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑤阿漕	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑥天神・大新田	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑦北部第一	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑧野村第二	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑨野村第一	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑩相川上流	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑪藤方第二	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑫長浜・伊倉津	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑬志登茂川上流第二	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑭安濃川上流左岸第二	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
⑮波瀬川第六・七	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

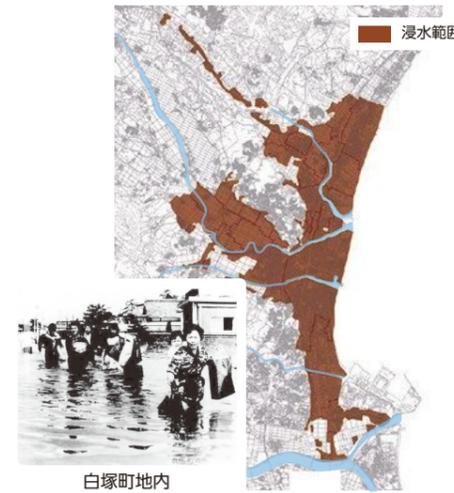
※⑮は令和5年の津市雨水管理総合計画改定により追加
 ※ ⇒ 設計等期間 ➡ 工事等期間



津市雨水管理総合計画に基づき、15の重点対策地区で浸水対策を集中的に進めています。計画期間中の浸水対策事業費は、国の「防災・安全交付金」と「大規模雨水処理施設整備事業」を活用し、約160億円を計上します。

02 令和の雨水対策

雨水管理総合計画に基づく展開



白塚町地内

浸水被害※1			雨量データ		
浸水解消時間最大	浸水最大面積	床上浸水	最大降水量1時間	最大降水量24時間	総降水量
約48時間※2	3583ha	8213棟	68mm	277.5mm	330.5mm

昭和49年時点で21施設だった排水機場施設は、平成16年には50施設まで増設。排水処理能力の向上により被害が大幅に軽減



上浜町二丁目地内

浸水解消時間最大	浸水最大面積	床上浸水	最大降水量1時間	最大降水量24時間	総降水量
約8時間※2	1701ha	1653棟	98mm	427mm	440.5mm

昭和49年時点で毎分3,325m³だった排水処理能力は、令和6年には毎分17,734m³へと約5倍に向上。昭和49年の豪雨と比較すると総降水量が約1.5倍であったにもかかわらず被害は大幅に軽減



高茶屋小森町地内

S49豪雨との比較

浸水被害面積 2,700分の1
 浸水解消時間 16分の1

浸水解消時間最大	浸水最大面積	床上浸水	最大降水量1時間	最大降水量24時間	総降水量
約3時間※2	11.4ha	3棟	73.5mm	325.5mm	501mm



※1 浸水被害のうち、昭和49年・平成16年は合併前の旧津市のみのデータ
 ※2 浸水解消時間はいずれも道路冠水時間を比較し、昭和49年・平成16年が災害関係記録に基づく推計値、令和6年は浸水センサ検知結果に基づく時間

Pick up! 重点対策地区の整備等状況

15 事業費：約17億円 波瀬川第六・七排水区

第六雨水ポンプ場

令和6年度着手 ▶ 令和11年度完了予定



台風時の一級河川 波瀬川の状況



「雲出川流域治水プロジェクト」の計画区域

11 事業費：約57億円 藤方第二排水区

管路延長：1,517m

令和元年度着手 ▶ 令和8年度完了予定



管径3.4mの雨水管を築造したシールドマシン



約1万3,700tの雨水を貯留可能な「地下のダム」として機能する貯留管

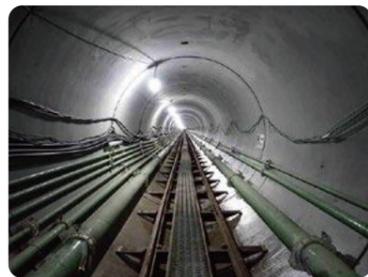
4 事業費：約48億円 半田川田排水区

管路延長：1,986m
 雨水ポンプ場

令和元年度着手 ▶ 令和8年度完了予定



管径2.8mと2.6mの雨水管の合流箇所



管径2.2mの雨水管の内部